

The best relationship

第一学年通信 No24

～最高の仲間たち～



・保護者の皆様へ・ 学年・学級懇談会 16(金)

お忙しい中、多くの方に出席いただきありがとうございました

四月からの中学校の様子を、生活、学習の面から話をいたしました。入学してから2ヶ月余り。現時点では、欠席や遅刻も少なく元気な挨拶ができるようになってきました。この点は、これからも続けていきたいところです。

しかし、心配な面もいくつかありますので、今一度、ご家庭でも確認していただければと思います。今後も、生徒との信頼関係を大切に指導にあたっていきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

① 早寝早起き朝型の生活スタイル

睡眠時間（7時間を目安に）を確保し、朝食をとる習慣を身につけさせてください。毎日、朝食をとることでエネルギーが体にも頭にもいきわたるそうです。

② 学業と部活動の両立

各教科の提出物が出せない→放課後に残ってする→部活動に遅れて参加するという悪循環にならないようにさせてください。

③ トラブル未然防止

校区外に友達同士で行かない、外泊はしない・させないことを守ってください。

この2ヶ月の間に、姫路まで行っていたケースがありました。

遊戯施設の利用について…『生徒指導通信No3』

外泊について…『保護者の方にお願ひします』（家庭訪問時に配布）

先日の“祭り”でも、遅い時間に一年生数人がコンビニ等にいたところを地域の方が見ておられます。夜間の外出もあわせて、子供達を見守ってください。

夜店・祭り・盆踊りについて…『生徒指導通信No5』

④ 家庭学習の習慣化

何時間するかよりも、まず毎日する習慣をつけさせてください。

中間テストは、はじめてでたくさん失敗もしたことでしょう。次の期末テストでは、そのうちの一つでもなくす気持ちでのぞんでもらいたい。

今年の二学期のスタートは、8月末です。そのつもりで、夏休みの課題（宿題）に取り組ませてください。

SNSは危険？

SNSもいろいろ

SNS（Social Networking Service）と一言で言っても、LINE、Facebook、Twitterを同一には語れません。最近約1年以内の20代以下の利用率は、LINE(62.8%)、Twitter(52.8%)、Facebook(49.3%)。実名利用率は、Facebook(83.2%)、LINE(66.9%)、Twitter(18.0%)でした。この大手3者以外にもInstagram、mixiもありますが、これらを使い込まなければ、そこにはまる人の気持ちも、はまった時の危険性もわからないと思います。

*利用率%…総務省調査研究より



SNSは便利なツール

LINEを使っているとその便利さには「さすが最新技術」と感心させられます。

書き込みがあったかが瞬時にわかる一方で、すぐに書き込みができなくても、開くだけで相手に「既読」と出ます。何人かでグループを組んでいたなら、そこに書き込むだけで「全員に送信」できてしまいます。

SNSのすべてが危険なわけではなく、使い方次第では大変便利だからこそ多くの人が使っています。



SNSの危険性は目から入る文字情報

SNSと会話の違いはテレビとラジオの違いに相通じます。目から入った情報は分かったような気になるものの記憶に残りにくいものに対して、耳から入った情報は想像力を育み、記憶に残ります。誰かとの直接の会話だと、話している相手の反応がその場で分かります。

「あっ、まずいことを言ってしまった」と思ったら、すぐに「ごめんなさい」、「前言撤回」ができます。ところが、SNSの場合は目から入るのは主に文字情報です。そのため、そこに書かれている、目から入る情報をどう解釈するかは読み手次第ですので、自分勝手な、書き手との解釈の違いから誤解や行き違いが生まれると思って使う必要があります。



岩室紳也

:ヘルスプロモーション推進センター代表